

# 土砂災害に係るコミュニティタイムラインの作成について

## ◆経緯

平成29年10月の台風21号によって、町内で多数の土砂災害の被害を受けた。その対応の教訓を活かし、土砂災害タイムラインの策定を進め、平成30年度に行政タイムラインと、2地区のコミュニティタイムラインを策定した。

## ◆内容

地区役員の方に集まっていたいただき、台風等により土砂災害が起きることを想定し、地区として事前に「いつ・誰が・どのような行動」を取るべきかをワークショップ形式で意見を出し合い素案を作成する。2回目のワークショップにて内容の確認と、作成したコミュニティタイムラインを用いて図上訓練や、集会所を使用した垂直避難訓練を実施する。

## ◆効果

昔からある山手集落の住民は、あまり避難される方が少ない傾向であるが、地区役員が集まり、ワークショップ形式で互いに意見を出し合うことで、近年の雨の降り方は異常なので、いかに地区の住民を避難させるか。といった「避難」に対して意識を持ってもらえるようになった。また、作成したタイムラインの表に「マイ・タイムライン」の欄を作り、事前に住民一人ひとりがどのように行動するべきかを考えていただく機会もできた。



(ワークショップの様子)